

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 18歳選挙をきっかけにシチズンシップ教育を進めよう

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

直近の小平市議会議員選挙の投票率は44.40%、市長選挙は37.28%、国政選挙でも50~60%代と、投票率の低い状態が続いています。総務省の「常時啓発事業のあり方等研究会」の最終報告では、他の世代に比べて若者の政治的関心、投票義務感、政治的有効性感覚は低く、その一因は学校教育において政治や選挙の仕組みは教えても政治的・社会的に対立する問題を取り上げ、関心を持たせたり、判断力を養成するような教育がほとんど行われていないことが挙げられるとされています。2015年6月に公職選挙法の一部が改正され、有権者の年齢が満18歳以上に引き下げられました。教育基本法14条には良識ある公民として必要な政治教養は、教育上尊重されなければならないとあります。

今の投票率をみると特に若者だけでなく、学校教育を受ける子どもから高齢者まで幅広い年齢層で社会参加や政治的リテラシーなどを学習する場が必要です。そこで、小平市でのシチズンシップ教育をすすめるため以下、質問いたします。

1、小平市はシチズンシップ教育をどう捉え、小平教育振興基本計画に反映していますか。

2、学校での学習は学力向上だけでなく、子どもの頃から話し合いによる合意形成をくりかえすことを学び、熟議に参加する市民に育成することが大切だと思いますが、現在学校教育で行われていることと、今後の取り組みについてお示ください。

3、選挙権の18歳引き下げに向けて行った模擬投票、選挙K発プロジェクトなど市の取り組みの内容と成果、課題をお示ください。

4、市で行っている生涯学習のなかでシチズンシップ教育を見据えた若者向けのプログラムや地域の課題に関する講座がありますか。あれば過去3年間の内容をご披露ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

平成 28 年 5 月 30 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)